

上福岡教会 CS こひつじ科 - 合同^[L]_[SEP]の礼拝

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になっ
てはいけません」

ヤコブの手紙 1章22節

2021年10月17日

この礼拝の動画へのリンク：<https://youtu.be/rKnvTbjqVi8>

- ・さんび：7「**すずめやはとを**」（下を参照）
- ・おいのり（今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。）
- ・せいしょ ルカによる福音書24章13-35節（p. 160-161）
ふくいんしょ しょう せつ
- ・おはなし「イエス様が一緒に歩んでくださることのしるし」
さま いっしょ あゆ

（まず、今日の聖書箇所を開いて読みましょう。長いですが、頑張りましょう。）



みなさん、こんにちは！ スパーリンク宣教師です。今日も神様のみことばである聖書から学びたいです。特に確認したいことがあります。それは、どんな時にもイエス様がご一緒してくださるから、勇敢に、何も恐れないで、イエス様に従っていくことができることです。でも、どうしてこれを確信することができるのでしょうか。それは今日の聖書が教えてくれるところです。イエス様がいつまでも私たちと一緒にいて、私たちを養ってくださることを示す「しるし」を与えてくださったからです。

私たちが毎日何回か食事をしますね。皆、だいたい1日三食ですか？家で朝食を食べ、学校で給食を食べて、また家で晩御飯を食べます。イエス様とその弟子たちも毎日食事の時間に一緒に食事が多かったようです。その度ごとに、食べる前、私たちがそうしているように、食前の感謝の祈りを捧げます。イエス様がリーダーですから、イエス様が祈ります。彼らにとって最も大事な食べ物はパンでした。だからその時に、リーダーのイエス様がパンを手にして少し高めに持ち上げて、このように祈られたはず。「大宇宙の王でいらっしゃる私たちの主なる神様、大地からパンを作らせてくださることを感謝いたします。」こう祈ってからパンを割いて、食卓を囲んでいる弟子たちに回して、食べさせるのでした。わたしたちは食べる直前、「いただきまーす」と、簡単に感謝の気持ちを表しますが、イエス様のように、まず神様に、次に働いて小麦を作った農家に、食事の支度をしてくださった親に、など、もうちょっときちんと感謝を表したいですね。とにかく、イエス様たちの食事の習慣がそうだったので。

でもある特別な食事の時、イエス様はさらにとっても驚く事を弟子たちに教えてくださいました。イエス様が割いて渡してくださるパンについて、感謝の祈りを捧げてから、パンを割り、「とって食べよ。これはあなたがたのために与える私の体である」と言って、パンを回しました。その時、エジプトを出た時に天から降ってきたマンナの事を記念する特別な食事会でした。でも、今度いただくそのパンは単なるマンナの記念品ではなく、彼らの魂を永遠に生きるように備えられるイエス様ご自身です。大地からできたパンではなく、

天から降ってきた「命のパン」なのです。イエス様はその時に弟子たちに大切なことを命じました。「あなた方はこのパンを食べるごとに、私の記念として行いなさい。」と。そうすれば、イエス様ご自身が私たちをいつまでも支える「命のパン」をいただくことができるわけです。

さて、話が長くなりますが、今日の聖書箇所で、とても気持ちがあくじけた、悲しみに覆われている二人の弟子に会います。ついこの間、彼らが愛していたイエス様が十字架につけられて殺され、葬られてしまいました。救い主のはずだったのに、と彼らが寂しがって、とても心細い状態にいます。日曜日の晩、エルサレムの町から、エマオという、彼らの町に向かって歩いています。少し暗くなってきていた時に、顔を半分隠していた被りもの頭にして、誰だ、とわからない姿の、死者の中から復活したイエス様が、彼らが歩いていた同じ道に同行することになりました。彼らの話をお聞きになるイエス様は彼らを少し叱って、聖書では来るべき救い主はそのような苦しみを味わって死に、その後、栄光に輝くようになるはずだったことを指摘してくれます。彼らは勇気つけられます。そこで、彼らが泊まるつもりだった宿に着くと、イエス様だとまだわからない不思議な同行者が一緒に泊まるように誘うと、納得します。そしていよいよ晩ご飯が出されます。その時にイエス様がいつものように、パンを取り上げ、感謝の祈りを捧げ、これを割いて彼らに渡すでないか！彼らはその時どのように思ったでしょうか。ご一緒しておられたのは、まさか、生きておられ、今も養ってくださるイエス様ではないか！今も守ってくださり、命のパンを割いてくださる救い主でした！驚きと喜びに満たされた二人でした。イエス様はその後姿を消して、去っていきますが、彼らは早速エルサレムに戻ることにして、他の弟子たちに報告すると、彼らも、生きておられるよみがえりの主イエス様に私たちも会ったよと言われました。イエス様がパンを割いて渡してくれた時に、確かにご一緒しておられることを知りましたと確認し合います。

私たちも食事をする時に、毎回、イエス様が命のパンを備えてくださることを思い出すようにしなさいと主イエス様が命じました。ですから、「いただきませう！」と元気に感謝を込めて言い出す時に、「イエス様、今日もご一緒にいて、養ってくださることを感謝します」とちゃんと思ひ出しませう。そして特に教会で聖餐式を守る時に、私たちの救いのためにご自身の体を与え、ご自身の血を私たちの罪の赦しのために、永遠の命に養うために与えられていることを確認しましませう。イエス様ご自身が備えてくださったしるしです。「わたしは世の終わりまで、いつもあなた方と共にいる」と約束してくださいましたことをいつまでも覚えませう。

一言をご一緒に祈りませう！

大宇宙の王、私たちの主なる神様、イエス様によって私たちに、永遠の命に養っていただけの命のパンを備えてくださいます。今日も、そのパンをまるでイエス様の手からいただき、イエス様をご一緒くださる救い主であることを改めて確認しあうことができますように。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

・けんきん：教会で再びお会いするときにまとめてささげませう。会堂2階
掲示板下の机に献金箱を設置しました。おいでの際におささげください。

・さんび さんびか 55 「**愛・あい・アイ**」(下を参照)

いの もくとう かみさま すくって しん かんしゃ
・お祈り (黙祷をもって神様が救ってくださることを信じ、感謝しましませう。)

7 すずめや ほとを

ミルトン 原詞
由木 康 訳詞 1966
なめらかに ♩=112

チボ一作曲



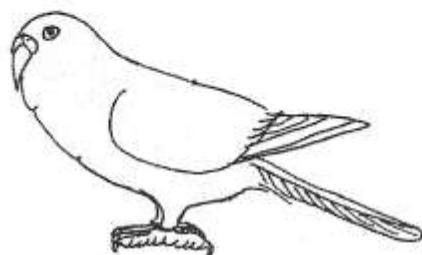
1. すずめやほとを おそだてなさるめぐ
2. やみのなかにも ひかりをてらすさか
3. つきをのぼらせ ほしをみちびくちか
4. わたくしたちを おまもりなさるめぐ



- みのかみをともにおう
えのかみをともにおう
らのかみをともにおう
みのかみをともにおう

(神)

1. すずめやほとを おそだてなさる
めぐみの神を 共にうたおう
2. やみのなかにも 光をてらす
さかえの神を 共にうたおう
3. 月をのぼらせ 星をみちびく
ちからの神を 共にうたおう
4. わたくしたちを おまもりなさる
めぐみの神を 共にうたおう



55 愛・あい・アイ

C Maj7 Dm7

いつだってー そそがれるー 主の愛 あいーアイー
 だれだってー もとめてー 主の愛 あいーアイー

Dm7/G C Maj7 1. Dm7 Dm7/G

生きるためー ひつようなーものは 愛 あいーアイー
 あいされるー よろこびをー知った 愛 あいーアイー

2. B^bMaj7/C C F Maj7 Fm Maj7 Em7

ああ 生きててよ かったね こんな出
 ああ 生きててよ かったね きみはか

Em7/A Dm7 1. Dm7/G C Maj7

会 い が あ る き み は あ い さ れ る た め 生 ま れ
 み さ ま の 子 あ い さ れ

B^bMaj7/C C 2. Dm7/G C E^b B^b/D C

た だ ー て い る ん だ

暗唱聖句

じゅうがつ
10月

みことば おこな ひど じぶん あざむ
御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、

き 聞くだけ 終わるもの 者になってはいけません。

